

質疑応答（一部、昨年度のものも含みます）

番号	ご質問	回答
1	遠方に住んでいますので、ペアレンツ・デーになかなか参加できません。オンラインで参加できないでしょうか。	今年度のペアレンツ・デー全体会は、オンデマンドで実施しますので、地域を問わずに閲覧可能となっております。また、各学部の分科会については、実施内容に基づき、オンデマンドで実施するものと、対面で実施するものとがございますが、学生生活や進路に関するご相談・ご質問等には随時対応させていただいております。
2	学部を卒業した後に、農工大以外の大学院へ進学する学生は多いのですか。	令和2年度の農学部及び工学部の卒業生916名のうち、約75%の681名が大学院に進学しております。そのうち、8%強の59名が他大学へ進学しております。内訳は農学部205名のうち25名、工学部476名のうち34名となっております。
3	学部卒業者の場合、大学院修了者に比べ就職に不利なのでしょうか。学部の4年で卒業するメリットはありませんか。	本学は、全国国立大学の第3期中期計画という6年間の計画において、類形3、すなわち「世界と伍する研究大学を目指す」としてしています。したがって、本学の学生には是非とも研究室に所属し、研究を行ってみたいと考えています。その点から、多くの学部学生に、経済的に許されるようであれば大学院へ進学していただくことを望みます。ただし、学生は学部～大学院のどこかで社会にでて、活躍していただくことが重要です。本学の就職希望の学生が実際に就職した割合は、学部学生約88%、修士学生約97%、博士学生約91%となっております。本学の卒業・修了生は社会でも高い評価を受けており、就職を希望した学部卒業の学生は高い割合で就職ができております。一方で研究・開発などの高度な専門的知識を必要とする職種を希望する場合、大学院修了が必要となる場合も多くあります。なお、本学では、社会課題の解決策を見だし、貢献できる研究・技術人材「高度イノベーションリーダー」の養成・輩出を目指しており、大学院への進学を推奨しております。また、大学院生向けの各種経済的支援制度を設けており、指導教員等が進路についてのご相談を承っております。学部卒で就職した場合、早く社会に出ることになりますので、その点で早く社会勉強をできるというメリットがあります。
4	新型コロナワクチンの翌日の副作用でテストを受験出来ず、単位を取りこぼした教科があったようです。Withコロナの時代ですので、今後も起こり得る感染症やワクチン接種後の体調不良時の後日テスト受験や提出物の締切について対応についてご検討お願い致します。	本学では、新型コロナウイルスに関連して対面授業を欠席した場合の教育的措置について定めており、教育的配慮を実施することとしております。万が一新型コロナウイルスへの感染やワクチン接種などにより試験を受けられなかった場合や提出物の提出が困難であった場合は、授業担当の教員へ相談するようお願いいたします。
5	新型コロナウイルスのこともあり、メンタル面を心配しております。大学でのサポートはありますでしょうか。	本学では、教育・研究のみならず、メンタル面でのサポートも非常に重要であるとの認識を持って学生のケアに努めております。 本学には府中地区、小金井地区それぞれに保健管理センターがあり、そこでカウンセリングを行っておりますので、ご子息・ご子女にメンタル面で気になる様子がありましたら、積極的な利用を勧めてください。 また、今回のご案内状に記載しておりますペアレンツ・デーの特設ページにも、保健管理センターでのカウンセリングの案内を掲載しておりますので、ぜひご覧になってください。
6	サークル活動での感染が心配です。どのようになっているのでしょうか	多くの学生が課外活動を楽しみにしており、様々な制限を設けざるを得ない現況は非常に残念なものと思っております。 本学では、昨年度から感染拡大防止を図るために、各サークルの活動実態に合わせた感染防止対策を学生自身で策定させて、それを大学が審査したうえで活動を許可しております。 現時点で、90サークル程が許可され、活動しております。 また、最近の東京都における感染状況に鑑み段階的に制限を緩和しているところであり、都外での活動や宿泊を伴う活動等についても、必要性を吟味したうえで一部を認めております。 なお、特に感染リスクの高い、学生同士の飲食は、サークル活動に限らず全学生に対して行わないように周知しておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。
7	新型コロナウイルスの影響などで経済的に困窮している学生に対して、東京農工大学では何か支援をしておりますか	本学では、今年度の前期に授業料が全額免除になるなど、経済的に厳しい学生に対して、基金から拠出した資金を基に、大学生協の食堂等で使用できる「学食パスチャージ券」を配付し、支援しております。学生からの反響も大きく、後期も実施することとしております。 なお、今後も本学学生へ経済的な支援を実施するために、基金へのご寄付を重ねてお願いいたします。
8	大学独自の奨学金について教えてください	本学大学院の博士課程へ進学予定の学生を支援する「東京農工大学遠藤章奨学金」があります。 本学の特別栄誉教授である遠藤章先生は「スタチン」と呼ばれる血中コレステロール値を下げる物質を発見し、ノーベル賞候補者にも挙げられている、非常に著名な先生です。この遠藤先生からご寄付いただいた浄財を基に、本奨学金を設立しました。博士課程修了まで、毎月10万円を支給するというもので、学部の3年生から応募できます。今年度の応募は11月30日までとなっておりますが、4年生になってからでも応募できますので、博士課程へ進学予定の場合、ぜひ応募願います。 詳しい内容については、本学HPに掲載しております。
9	大学生なので、勉強のことや学生生活、就職など親には相談できないことも多くなっている様子です。大学では相談に乗ってくれるのでしょうか。	学生と教員が自由に話し合える場として、学生相談室が両キャンパスにあります。学業、進路、人間関係、生活上のことなど、何でも気軽に相談に来ていただいて結構です。 各学科の先生が担当していますので、授業のことなど簡単な質問でも全く構いません。必要であれば外部相談機関などへの紹介も致します。もちろん、相談内容の秘密は厳守されます。 就職についても、両キャンパスに就職相談室を設置しております。専門の相談員が就職関係の相談に対応しております。また、メールでの相談もできますので、積極的に利用させてください。